

日本移民学会

第24回年次大会

【開催日時】2014年6月28日(土)、6月29日(日)

【会場】和歌山大学経済学部棟 (〒640-8510 和歌山市栄谷 930 番地)

Program



《問合せ先》

【大会実行委員会】南川 文里
[E-mail] 2013jams@gmail.com

【開催校】東 悦子
[FAX] 073-457-8580
[E-mail] etsuhiga@center.wakayama-u.ac.jp


日本移民学会
The Japanese Association for Migration Studies

日本移民学会

click!

大会テーマ

「地域から考えるグローバル・マイグレーション」



第24回年次大会は、国内でも有数の移民輩出地であり、米国、カナダ、オーストラリア、ブラジルなどの各地への海外移民の歴史が地域社会と深く結びついている和歌山県で行われることとなりました。和歌山は、世界史的な人の移動という現象を地域というコンテキストから眺めるのにもっともふさわしい場所であるといえます。そこで今年度は、「地域から考えるグローバル・マイグレーション」というテーマのもと、基調講演、大会企画シンポジウム、開催校企画シンポジウムが準備されました。基調講演では、アメリカ移民史の分野で意欲的な研究成果を次々に発表している Erika Lee 先生（ミネソタ大学）を迎え、「グローバル・ヒストリー」の観点からアジアとアメリカ大陸のあいだの移民の歴史についてお話しいただきます。また、今年度の大会企画シンポジウムでは、移民研究における「比較」という方法の可能性に注目しました。複数の移民、地域、時代を扱った研究は、移民研究を、どの

ような新しい視角と発見へと導くのか、複数の事例研究から移民現象を見つめてきた研究者を迎えて議論します。そして、開催校企画シンポジウムでは、和歌山が持つ海外移民の歴史を学びながら、現代の地域社会が移民という歴史的遺産にどのように向き合っているのかを考えます。さらに、大会前日には移民母村として知られる太地町へのツアーも企画されています。今回、移民輩出県である和歌山での開催に際し、地域と連携した企画準備に尽力し、大会開催を実現させた東悦子先生をはじめ和歌山大学および地域の関係者のみなさまには深く感謝いたします。会員諸氏には、大会期間を通して、和歌山という地域と移民の歴史を肌で感じつつ、学術的な方法論から地域実践まで、さまざまな角度からグローバルな移民現象へと接近してほしいと考えています。

大会実行委員長 南川 文里

第1日目 2014.6.28[Sat]

9:30-10:30	四役会議(教室 E206)
10:30-11:30	運営委員会②(教室 E201)
11:30	受付開始(経済学部棟・南入口ロビー)
12:00-14:00	基調講演 Erika Lee (ミネソタ大学) “Chasing Dreams: Local and Global Histories of Asian Immigration to the Americas and Back” およびアジア系アメリカ人研究学会 (AAAS) 派遣研究者講演(教室 E101) 大会企画シンポジウム「移民の比較研究から何が見えるのか」
14:15-17:15	【司会】南川文里(立命館大学) 【パネリスト】 白水繁彦(駒澤大学)「多民族社会における比較研究：ハワイの事例を中心にー」 樽本英樹(北海道大学)「移民研究における比較的方法の可能性：移民市民権政策の観点から」 佐々木剛二(東京大学)「ブラジルの日本移民と日本のブラジル移民：比較の限界と可能性」 【コメンテーター】園田節子(兵庫県立大学)
17:30-18:15	総会(教室 E101)
18:30-20:30	懇親会(学生会館内・生協第一食堂) ※若手研究者紹介コーナーあり。ぜひご参加下さい。

第2日目 2014.6.29[Sun]

8:30-9:00	運営委員会③(教室 E201)
8:30	受付開始(経済学部棟・南入口ロビー)
8:30-8:50	自由論題報告者と司会者打合せ(各会場)
9:00-12:00	自由論題報告

A会場（教室 E102） 司会：岡野 宣勝、木下 昭

9:05-9:45	ジョハンナ・ズルエタ（創価大学）	沖縄人女性帰還移民の死生観
9:50-10:30	野入 直美（琉球大学）	沖縄・先島地域で暮らすフィリピン人女性たち（1） 台湾系住民との比較を中心に
10:35-11:15	高畑 幸（静岡県立大学）	沖縄・先島諸島で暮らすフィリピン人女性たち（2） 本土都市圏在住者との比較を中心に
11:20-12:00	月野 楓子（法政大学・院）	アルゼンチンの沖縄系下位世代による「文化継承」 — Ryukyu Sapukai を事例に—

B会場（教室 E103） 司会：木村 健二、桑井 輝子

9:05-9:45	パイチャゼ・スヴェトラナ、 玄 武岩（北海道大学）	サハリン「本国帰国者」のトランスナショナルな特性
9:50-10:30	中山 大将（北海道大学・日本学術 振興会）	サハリン帰国者と日本：冷戦期・ポスト冷戦期における樺太残留邦人帰還問題
10:35-11:15	中山 寛子（法政大学・院）	日本の海外移住に関する一考察 — 1920年代以降の国策移住にみる「集団移住」—

C会場（教室 E104） 司会：北村 暁夫、柳澤 幾美

9:05-9:45	山根 美奈（京都大学・院）	イタリアの移民 一法による受容と拒絶—
9:50-10:30	陶山 宣明（帝京平成大学）	ヨーロッパにおけるプロサッカー選手の国際的移動
10:35-11:15	具 美善（一橋大学・院）	韓国における「結婚移住女性」の国籍変更をめぐる経験と意味

12:10-13:40

ラウンド・テーブル

昼食持参で、以下の6会場で行われるラウンド・テーブルにご参加ください。

A会場（教室 E202） 移民・海外渡航者と船上生活体験

- 【司会】根川 幸男（国際日本文化研究センター）
 【話題提供】東 悦子（和歌山大学）「『渡航案内』『船内新聞』にみる船旅と異文化適応の準備」
 石川 肇（国際日本文化研究センター）「戦前期の文学にみる船旅」

B会場（教室 E204） 地域の視点からみた移民受け入れ実現に向けての取り組みと課題

- 【司会・モデレーター】木村昌人（公益財団法人渋沢栄一記念財団研究部）
 【話題提供】楠本 政幸（大阪府国際交流監）
 毛受 敏浩（公益財団法人日本国際交流センター）

C会場（教室 E205） マイノリティと名指されること / 名乗ること：移民・移住（史）研究の事例から

- 【司会】佐原 彩子（大月短期大学）
 【話題提供】菅（七戸）美弥（東京学芸大学）「米国センサスにおけるマイノリティへの調査実態」
 李 里花（多摩美術大学）「戦前のハワイにおけるコリア系2世のアイデンティティの諸相」
 佃 陽子（成城大学）「現代の在米日本人と『移民』」

D会場（教室 E207） アジア・オセアニアのフィリピン人移民の現在

“Contemporary Situations of Filipino Migrants in Asia and Oceania”（日英両語セッション）

- 【司会】永田 貴聖（立命館大学）
 【話題提供】原 めぐみ（大阪大学・院）「日比を往来する子どもたち：トランスナショナルな葛藤と実践」
 Johanna O. Zulueta（創価大学）“The Filipinos of Okinawa: Capital, Networks, Mobilities”（沖縄県のフィリピン人・フィリピン系—資本、ネットワーク、モビリティ）
 永田 貴聖（立命館大学）「ソウル特別市および近郊に住むフィリピン人移住者の社会関係について」
 阿部 亮吾（愛知教育大学）「シドニー大都市圏郊外におけるフィリピン系移民の組織化と多様性—2000年代の新しい動向に着目して—」

E (教室 E209) 北米における移民・同化・強制収容政策をめぐる抵抗と葛藤 (日英両語セッション)

【司会】 デイ 多佳子 (北イリノイ大学)・庭山 雄吉 (成城大学・武蔵大学)

【話題提供】 デイ 多佳子 (北イリノイ大学) 「疑惑の『連帯』—戦前シカゴの日本人コミュニティとアフリカ系コミュニティの接点」 (A Glimpse at Hidden Contacts Between Japanese and African Americans in Prewar Chicago)

庭山 雄吉 (成城大学・武蔵大学) 「駒形丸事件 (1914 年) についての一考察—インドからの移住希望者の挑戦—」 ("Undesiables" from India: A Challenge to Canada's Restrictive Immigration Policy)
 Laura Sachiko Fugikawa, (イリノイ大学) "Community Dispersal: Japanese Americans, Native Americans and Assimilation programs"

F 教室 (教室 E210) English Roundtable: Migration from Wakayama (英語セッション)

【司会】 小澤 智子 (武蔵野美術大学)

【話題提供】 今野 裕子 (上智大学) "Wakayama Emigration in Context: A Local Response to Global Forces"

【ディスカッサント】 Erika Lee (ミネソタ大学)

14:00-16:30

開催校企画シンポジウム「移民と和歌山 —移民母県の取組—」(観光学部棟 T101)

和歌山県は明治時代より世界各地に移民を輩出し、何か所もの「移民母村」と呼ばれる地域を有しています。かつて多くの日本人が仕事を求めて海を渡った事実を知る機会がほとんど無い現在でも、本県では親族や知人のだれかしらが移民していたという話を耳にすることはまれではありません。一方、そのような記憶も世代交代と共に消失しつつあるのも現状です。2009 年、わが県の移民の歴史に光を当て次世代へと継承するための試みとして、和歌山大学では「移民」をテーマとしたシンポジウムと展示を開催しました。それが一つの契機となり、各地域の機関・団体の多大なる協力を得ることができ、相互のネットワーク構築の始まりとなりました。それから 5 年の時を経て、新たな組織の設立や調査の発展、交流の深化が進みつつあります。この度、移民母県和歌山で日本移民学会が開催されるという機会に、各機関・団体の取り組みの一端を報告し合い、それを通して本県の先人の軌跡をふり振り返りつつ、その歴史遺産を踏まえて、現在に生きるわたくしたちが、いかに過去と向き合い、新たな絆を紡ぎ、次世代へと継承していけるのか、という課題を共有したいと考えます。わたくしたちの内からのまなざしに、参加者の皆さまの外からのまなざしを加えていただき、ご意見を頂戴できればと願っています。

開催校・和歌山大学 東 悦子

16:40-17:30

運営委員会③ (教室 E201)

※休憩室・フリースペース 会員相互の情報交換の場としてご利用ください。(教室 E105)

※移民関連の映像を上映します。(観光学部棟 T101)

会場 (和歌山大学経済学部棟) へのアクセス

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 番地

◆南海和歌山大学前駅から

徒歩で約 20 分、自転車で約 10 分、

和歌山バス (和歌山大学前駅東口バス停 和歌山大学行き) で約 4 分

◆南海和歌山市駅から

和歌山バス (3・4 番乗り場 和歌山大学行き) で約 20 分

◆JR 和歌山駅から (※関西空港から JR 和歌山駅東口まで約 40 分)

和歌山バス (4 番乗り場 和歌山大学行き) で約 30 分

※「大学口」「大学門前」各停留所は、和歌山大学の最寄停留所ではありませんのでご注意ください。

